

都市再生整備計画(第4回変更)

かぬまえきしゅうへんちく
鹿沼駅周辺地区

とちぎけん かぬまし
栃木県 鹿沼市

令和6年10月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォーカブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	鹿沼市	地区名	鹿沼駅周辺地区	面積	46.5 ha		
計画期間	令和 元	年度	～	令和 5 年度	交付期間	令和 元	年度	～	令和 5 年度

目標

- JR鹿沼駅周辺の利便性や生活環境の向上
- ・目標1: 基盤整備による駅西部の交通の分散、駅へのアクセス改善及び居住の促進
- ・目標2: 歩行者・自転車が安全・安心に移動できる交通環境づくり

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 ・鹿沼駅から市役所にかけての中心部は、都市機能の集積、一定の人口密度のまとまり、公共交通のアクセス等の観点から拠点性を持つ地区である。しかし一方で、人口減少による空洞化などの課題が明確であり、集積性の減少、都市のイメージを牽引する都市活力の喪失につながり、拠点性を失うことも考えられる。また中心部は、都市の歴史・文化を継承する地区でもあり、都市のアイデンティティの継承のため、中心部の再生に向け、居住も含めた多様な機能の維持・誘導に関する取り組みを進めていく。
 ・拠点市街地では、鉄道やバスなどの公共交通ネットワークの利便を活かした高次都市機能施設の集積を図り、その周囲では、身近な生活利便施設と住宅が共存する良好かつ利便性の高い市街地の形成を図り、拠点市との公共交通ネットワークを維持していく。また、市街地の縁辺部では、穏やかに自然と共存するゆったりとした自然共存型市街地を配置するなど、都市全体の構造を再編していく。
 ・公有不動産の活用としては、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の再編による公有不動産の余剰地を有効活用するなど、都市機能誘導区域の魅力向上による活性化を図る。

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、JR鹿沼駅から半径1.0km以内に位置し、古くからの田畠や近年の民間開発等が入り乱れている地区である。
 本地区では、道路等の都市基盤の整備が遅れており、都市計画道路の整備も事業化しているが、整備に遅れが生じており、歩道もなく、狭隘な道路が多い。そのため、駅周辺という立地ではあるが、現在も住居地域としての土地利用があまり図られていない地区となっている。

本地区周辺には、小・中学校や高等学校が位置しており、そのような歩道の無い狭隘な道路を学生が通学路として利用している。

また、消防車等の通行が困難な道路も多く存在する。

本地区を南北に通過する道路は、現在、鹿沼駅西側のみにしかなく、通勤・帰宅時に渋滞が発生する。

JR鹿沼駅は、都市計画マスターplan等で交通拠点として位置づけられているが、改札口が西側のみとなっており、東側からの駅利用には、鉄道を迂回横断しなければならない。

JR鹿沼駅西側の駅前広場や自転車駐車場においても、整備から老朽化が進んでいる。

また、令和3年3月22日に「鹿沼市立地適正化計画」を公表しているが、令和2年9月の法改正により制度化された「防災指針」については現在未策定である。

課題

- ・居住の推進や交通量の分散のため、主要道路等の基盤整備が必要。
- ・居住を推進するに当たり、昨今の激甚化する自然災害への対応として、防災・減災の観点を取り入れたまちづくりが必要。
- ・道路等の都市基盤の整備が十分でないため、交通環境の安全性・快適性が確保された道路整備が必要。

将来ビジョン(中長期)

(鹿沼市都市計画マスターplan)

・平成22年度に策定された鹿沼市都市計画マスターplanでは、本地区においては、駅周辺における安全で円滑な交通処理機能の向上や土地利用の促進を図るために、都市計画道路3・4・211号鹿沼駅東通り及び都市計画道路3・4・207号鹿沼駅裏通りの整備を推進していくこととしている。

(第7次鹿沼市総合計画)

- ・土地利用構想においては、JR鹿沼駅東側の整備による駅を中心とした交通結節点の強化と居住の推進をしていくこととしている。
- ・基本計画においては、「交通ネットワークの形成」として、JR鹿沼駅周辺の整備を進め、利便性向上・利用者の増加及び駅周辺の活性化を図ることとしている。

(都市機能誘導区域の設定)

・令和3年3月に公表予定である鹿沼市立地適正化計画では、鉄道やバス等の公共交通ネットワークの構築と多様な機能の立地を許容できる拠点に適した地区として、鹿沼駅周辺を都市機能誘導地域に設定する予定である。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- 多くの市民の利用や広域性を持った高次都市機能の集積する拠点市街地を形成するため、都市機能誘導区域を配置する。具体的には、多くの市民が利用する広域性を持ち、子供から高齢者まで多様な世代が利用しやすい立地であることが求められる高次都市機能の集積する区域は、鉄道やバスなどの公共交通によるアクセス性の高い区域として、現在でも多様な要素の都市機能の集積がみられる市の中心部と鹿沼駅周辺地区の2箇所に配置する。
- 中心部地区では、現在、市役所・病院・百貨店・大型小売店舗・郵便局・銀行・図書館や美術館といった多様な要素の都市機能が集積しており、これらの機能を維持していく。また、鹿沼駅周辺地区では、駅東側の都市基盤の整備に併せ、さまざまな誘導施策を講じながら都市機能の誘導を図っていく。
- そして、人口減少・超高齢化が進展していく中においても、高齢者でも出歩きやすく健康・快適な生活を確保すること、子育て世代などの若年層にも魅力的なまちにすること、財政面・経済面で持続可能な都市経営を可能とすることなど、これまでの拡大型の市街地整備を転換し、集約型都市構造による持続可能な都市づくりを進めていく。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口の推移	人	地区内の人口の増減の計測	地区内人口の減少率の縮小を目標とし、居住の推進が図れたかを評価する。	2,124	H30	2,100	R5
通学路や歩行者の安全性に対する満足度	%	地区住民に対して道路の安全性に関するアンケート調査においてどちらかといえば満足している人の割合	道路、歩道等を整備することで、安全・安心な歩行者ネットワークが形成されることを地域住民の満足度で評価する。	22.1	H30	40.0	R5
国道293号の交通量	台	昼間12時間のJR鹿沼駅前(国道293号)の交通量の計測	JR鹿沼駅前(国道293号)の交通量調査を実施し、交通量の推移で交通量が分散されているか調査し、駅へのアクセス改善がされているか評価する	2,310	H27	1,960	R5

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
目標1(基盤整備による駅西部の交通の分散、駅へのアクセス改善及び居住の促進) ・居住の推進や交通量の分散による駅へのアクセス改善のため、主要道路等の基盤整備を行う。 ・災害リスクを踏まえた課題抽出を行い、ハード・ソフト両面での取組方針(防災指針)の策定を行う。	基幹事業:都市計画道路3・4・211号鹿沼駅東通り(道路) 提案事業:防災指針策定に係る調査分析業務
目標2(歩行者・自転車が安全・安心に移動できる交通環境づくり) ・近隣小学校、中学校及び高等学校への通学に利用する道路の歩道等の整備により、交通ネットワークの改善を図る。 ・都市計画道路3・4・211号鹿沼駅東通りの整備に合わせた既存市道の美化化を行う。	基幹事業:都市計画道路3・4・211号鹿沼駅東通り道路 市道5007号線・市道1035号線・市道5009号線・市道0325号線
その他	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

樣式(1)-④-1

交付対象事業費	1,931	交付限度額	879.1	国費率	0.455
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費		費用便益比B/C	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分				
道路	街路	都市計画道路3・4・211号鹿沼駅東通り	鹿沼市	直	910m	H26	R5	R1	R5	2,500	1,900	1,900	1,900	1,900			
公園																	
古都保存・緑地保全等事業																	
河川																	
下水道																	
駐車場有効利用システム																	
地域生活基盤施設																	
高質空間形成施設	カラー舗装	市道5007号線、市道1035号線、市道5009号線、市道0325号線	鹿沼市	直	1,180m	R5	R5	R5	R5	10	10	10	10	10	10		
高次都市施設	地域交流センター																
	観光交流センター																
	まちおこしセンター																
	子育て世代活動支援センター																
	複合交通センター																
誘導施設	医療施設																
	社会福祉施設																
	教育文化施設																
	子育て支援施設																
既存建物活用事業																	
土地区画整理事業																	
市街地再開発事業																	
住宅街区整備事業																	
パリアフリー環境整備事業																	
優良建築物等整備事業																	
住宅市街地総合整備事業																	
街なみ環境整備事業																	
住宅地区改良事業等																	
都心共同住宅供給事業																	
公営住宅等整備																	
都市再生住宅等整備																	
防災街区整備事業																	
合計												2,510	1,910	1,910	0	1,910	

1

$\sum_{i=1}^n (A_i \cdot B_i)$

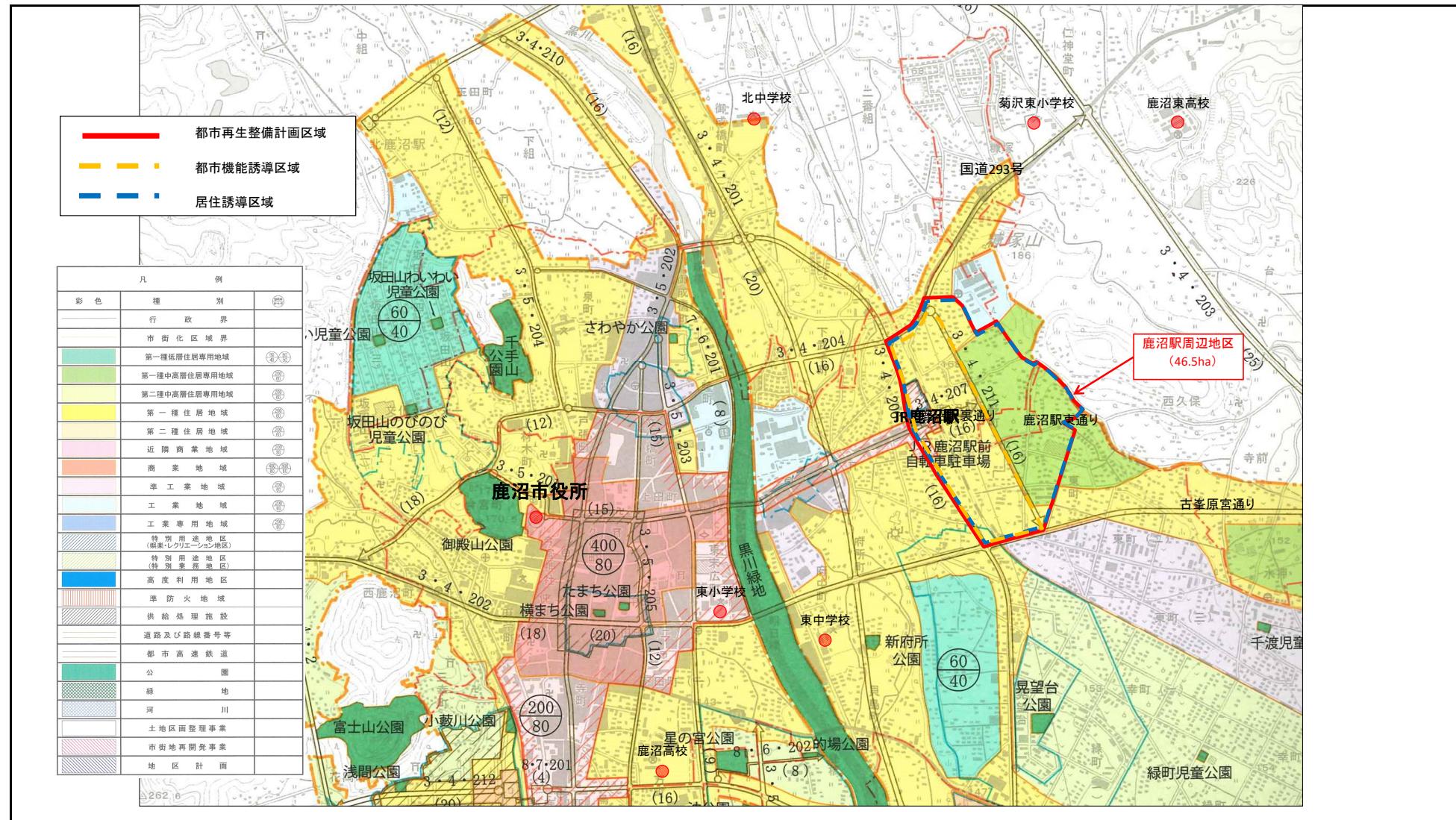
(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

(参考) 閩連事業

都市再生整備計画の区域

様式(1)~⑥

鹿沼駅周辺地区(栃木県鹿沼市)	面積	46.5 ha	区域	上野町、東町1丁目、下武子町、千渡の一部
-----------------	----	---------	----	----------------------



鹿沼駅周辺地区(栃木県鹿沼市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	・目標1:基盤整備による駅西部の交通の分散、駅へのアクセス改善及び居住の促進 ・目標2:歩行者・自転車が安全に移動できる交通環境づくり	代表的な指標	区域内人口の推移 (人)	2,124	(H30年度)	→	2,100	(R5年度)
			通学路や歩行者の安全性に対する満足度 (%)	22.1	(H30年度)	→	40.0	(R5年度)
			国道293号線の交通量 (台)	2,310	(H27年度)	→	1,960	(R5年度)

